



中 田 小

【学校教育目標】

さわやか笑顔 中田っ子
～思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます～

令和3年4月30日

【中田小ホームページ】

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

子どもの「気持ち」を育てる

校長 中村 真弓

希望をもって 笑顔でつなごう 未来へ
おめでとう 中田小 70周年

4月21日水曜日、雲一つない青天に恵まれ、70周年記念の航空写真撮影を行いました。急に暑くなったので少し体調を崩した子どももいましたが、昨年度のうちに決定していた図案でよい写真が撮れたことと思います。出来上がりが楽しみです。

4月の「今月の歌」は校歌でした。体育館で全校児童が集まって朝会ができていた時は、音楽朝会という形で「今月の歌」を歌うのですが、コロナウイルス影響下で今回もやむなく教室でテレビ放送を通して全校で歌おうと計画していました。ところが、今回のまん延防止等重点措置で歌うことができなくなったため、この機会を借りて普通の朝会のように校歌についての話をしました。

中田小学校の校歌は、開校5周年の昭和31年に校章(学校だよりタイトルの左が校章)と同じ年にできたこと、校歌を作る時に話題にのぼったことについて、50周年記念の副読本を参考に話しました。校歌については、

- 中田の稲は田がしらの泉によってよくみのること(学校の南門を出て西の方向に細長い泉があったという。)
 - 良質の松苗が生産され、各地に移出されていること
 - 春ともなれば一日中青空高くひばりがさえずること
 - 西は緑の彼方、大山、富士を望む景勝地であること
- と、50周年の記念副読本に掲出されています。

この内容が歌詞となり、65年後の現在にも通じているのですね。

今年度も制約の多い1年となりそうですが、できる方法を子どもたちと工夫しながら70周年をお祝いする活動を計画していこうと考えています。全校で児童数約800名のため、一堂に会しての会は開けないけれど、こういう形ならできる、という新しい形を子どもたちと工夫していきます。学年の発達段階に合わせてできることを考え、実

現するまで工夫し試行錯誤することは、周年行事だけでなく様々な学習や活動、行事を行う上で必要となる力です。それは、「学びに向かう力」を育てることにもつながります。教職員一丸となり、子どもたちのやりたい「気持ち」、やってよかったという「気持ち」を大切に育ててまいります。ご協力いただければ幸いです。

(←写真は、上空を飛ぶ撮影の飛行機を見上げる子どもたち)

